



# 12月 園だより

令和4年12月  
段原みみょう保育園

師走 ～4月からを思い出して～

心もからだもぐんぐん育っています!

今年は冬の訪れがゆっくりなのでしょうが…陽がさす時間はぼかぼかと暖かく、園庭では大勢の子が泥あそびを楽しんでいます。先日、お昼前に2階のデッキに行ってみると、10以上の外靴が、ずらりと並べて干され、靴の持ち主たちは夢中になって遊んだのだなあ。と、その光景から想像することができました。(お家の方はその日のお洗濯、大変でしたね。ありがとうございました。)

赤ちゃんたちの成長は、本当にあっという間で、4月に入園した頃はまだ、ねんねだった子も、一人で歩くようになり、同室の1歳児クラスのお兄ちゃん、お姉ちゃんたちのあそびの中にもどんどん入ってきています。1歳児の子たちは、自分がやりたいこと、欲しいものをはっきりと主張する一方で、0歳児の子たちがそばに来ると、「一緒にやっていいよ。」といわんばかりの雰囲気を出し、自分だけの楽しい場にさりげなく入れてあげたり、持っているものを貸してあげたりなどしています。大人が教えなくても、「この子は自分より小さい子。やさしくしてあげよ。」という気持ちが日々の生活のなかで知らず知らずのうちに芽生えているんだな、きっとこの子たちも、年上の人から大切にされているんだなと、気づかされます。

2歳児らいおんぐみでは、自分の身のまわりのことが少しずつできるようになってきました。服を裏返して畳む時、袖がどうなっているのかわからなくなってしまっても、自分なりに考えて畳んで片付け、「よし!できた!」という表情を浮かべながら、次のことへ行動を移しています。大人からすれば小さな生活の一場面でも、2・3歳の子どもにとっては、頭を使う、手を使う、なかなかの至難技。毎日の「できた!」という達成感が積み重なって、自信とやる気になっているようです。

さて、先月のみみょうフェスティバル・あそび展では、4月からの子どもたちの興味から広がってきたあそびを見ていただき、「あそびの中で育つ力」を感じていただけたことと思います。お父さん・お母さんからは、「子どもたちのアイデアに驚きました。」「発想が自由でおもしろい。」といったお声もいただきました。お忙しい中、お越しいただき、本当にありがとうございました。今月17日(土)は、4・5歳児は生活発表会、来月14日(土)は、3歳児がお楽しみ会を行います。今現在、自分も友だちもアイデアや意見を出し、イメージを共有しながら、劇のストーリーやセリフを決めていたり、音楽を聴いて一人ひとりが身体を動かして、遊戯の振り付けをしたりなど、子どもたちが中心となって進めているところです。友だちとじっくり考え、教えあったり、助けあったりしながら、もっとよくしていこうという気持ちを持って、楽しみながら進んでいくのではないかなと期待し、そのなかで、成長していく姿が見られることを嬉しく思います。お家でも発表会のお話があがりましたら、ゆっくり話を聞いてあげてください。やる気UPになること、間違いなしです。

早いもので、令和4年もあと一か月となりました。コロナ第8波の不安を抱えながらの年越しになりますが、来年も子どもたちみんな、とことん楽しみ、とことん笑って、明るく元気に過ごせたらいいなと思っています。

園長